廿二日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十六
編輯兼發行人　岡田弘氏
印刷
福島縣石城郡平町紺屋町十六
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

平町會本日招集

九年度特別税戸數割審議

高級助役問題不問か

九年度特別税戸數割賦課額決定の平町會は今二十二日午後一時から町會議室で開會井上議長開會を宣し直ちに議案審議に入つたが各案とも本稿〆切りまでは決定に至らない。

尚戸數割賦課は全員委員とする委員會附託となり議案審査、委員會調査等に約五日を要すものと見られるから本會議は二十七日頃になる模様、問題の高級助役案は現在の情勢が奇跡的急變を招來しなければ不問のまゝ放置される形勢にあり、今次町會に遮二無二押切りを策した佐々木派の活動も結局徒勞に歸し三度混迷狀態に陷るものと豫想される。

▲植田署巡閲

昨二十一日平警察署の事務巡閲を了した渡警察部長は今二十二日植田署巡閲の爲め出發した。

辻強盗現はる

南町川岸通り谷口側で

理髪徒弟を七首で脅迫

犯人は尼子助手二名

平町紺屋町理髪店入道軒こと吉田濱吉方徒弟大須賀一郎（一五）が昨二十一日午後十一時半頃平町夜の盛場南町川岸通りを素見しての歸途二町目裏谷口樓横通りを通行中谷口料理場の外壁に着けた二人の青年が突如小聲でよりかゝつてゐた詰襟黒洋服を一郎を呼止めて摺寄りポッケットから暗夜にもそれと肯れるドキ〳〵した及渡七寸余の匕首を取り出して拔身のまゝ一郎の胸部に突き付け金を出せと迫り恟え上つた一郎の懐中から十錢銀貨一枚在中の墓口を引き出し「ナンダ此れッキリか」と舌打ちしながら一郎の貌を擲り付けて本町方面に逃走した、折柄魔窟街素見客も同路地を可成り通行して居り余程大膽極はまる犯行だけに平署では直ちに犯人捜査を開始した結果右犯人は當時平町二町目尼子自動車部運轉助手草野村字六十枚生れ新妻久一郎長男佐藤正夫（一六假名）を拘引して嚴重取調た處犯行の一切止め今二十二日午前三時寢込みを襲つて兩名を檢擧嚴重取調た結果前記犯行一切を自白したので強盗罪として送檢する事になつた。

繭價慘落

植田市場況

川部養蠶實行組合保管の春繭三千貫は日本製糸と先に交渉の結果同製糸との特約を結んでゐたが二十一日の開市を待かね内五百貫を植田繭市場へ持込んだが遂に安値一圓五十錢臺の慘落を現出し組合側も日本製糸と交渉したが商談遂に破裂し組合では直に同市場内に協議會を開いた結果保管繭三千貫全部を乾繭共同保管として繭價暴落の危機を脱することになり同日午後縣に奬勵助成金交付方を申請し同日持込んだ五百貫は同市場で乾繭にすることになつた。

六歳の少女を強姦殺害

出倉炭礦の慘劇

犯人は十六歳の少年

二十二日朝勿來町大字酒井出倉炭礦坑夫長屋二〇番地渡邊直三郎四女キヨ（六ツ）が同坑倉庫内に慘殺された死体となつて居るのを發見大騒ぎとなり所轄植田署に届出たので片寄署長、香内刑事部長一行現場に急行、平支部より荒井豫審判事及藤沼醫師が出張してその死体を解剖した結果何者に絞殺され其の上凌辱されたる事が判明したので直ちに犯人捜査を開始したが、端なくも容疑者として同礦々夫作次郎長男佐藤正夫（一六假名）を拘引して嚴重取調た處犯行の一切を自白した。正夫は二十一日午後十二時頃前記直三郎方に密かに侵入してキヨの熟睡中を絞殺した上凌辱して死体を同礦倉庫内に遺棄して逃走何食はぬ顔をして居る處を逮捕されたものである。因に同人は昨年秋湯本町寶海に於て強姦罪を犯した事もあり大の底能兒である。犯行一切は目下引續き嚴重取調中。

常磐銀湯本支店落成

常磐銀行湯本町支店は同町温泉神社向角に鐵網コンクリート二階作りの店補新築中であつたが愈々竣成したので來二十五▲から移轉營業を開始することになつた。新支店は堂々たる美裝を凝らしたもので同町本通りの一美觀を現出してゐる。

四倉繭市況

開場以來の大量取引出來

相場は幾分下り歩調

春繭出廻りの最盛期と見られてゐた昨二十一日の四倉繭市場は二圓七十錢、最低十六圓、買馴二十圓五十錢

尚今廿二日も朝來から出荷多く市場は非常な活氣を呈してゐる

漁船顚覆して

漁夫二名慘死が

外六名は海岸に泳ぎ付く

昨豐間港の慘事

豐間村大敷網漁夫伊藤德松（三八）同本田弘（二六）の兩名は昨二十一日午前六時頃小舟に乘つて出漁の途中同港口附近で激浪の爲め顚覆兩名とも生死不明に陥つた、同村では直ちに消防組青年團、大敷網從業員等出動兩名の死体捜査に努めてゐるが今二十二日朝までは發見されない尚同時刻漁夫乘組の大敷網漁船は同港内で激浪に呑まれ顚覆したが海岸近かつた爲め各れも海岸に無事泳ぎ付いて死傷なかつた。

銅線犯人檢擧

前後十數回に亘り

各地を荒し廻はる

最近好間村を中心に各地で電線銅線を切斷窃取する犯人が頻に横行するので平署で犯人嚴探中であつたが昨二十一日午後六時頃平町六町目古物商某方に銅線十余貫を持込み賣却せんとしてゐる者のある事を探知した渡部温部長は柏木刑事と共に出動件の男を檢擧本署に引致嚴重取調ると此の男は當時住所不定無職小川村大字柴原生れ鈴木兼義（二三）で昨年十二月中小川村地内で電線約三十間を切斷窃取して賣り飛ばし遊興に費消したのに味を占從來引續いて十數回に亘り銅線、電線專門に荒し廻つてゐた事を自白した。

朝來遠近各地からの持込み多く前日の雨に祟られてか品質は初日に比し幾分劣つたが出廻り合計六千百五十九貫に達し取引の最高記錄をつくつた。

相場は品質低下により初日より以來の安値を現出した。

白繭五千三百六十七貫、最高二十五圓三十錢、最低十八圓買馴二十三圓八十錢

黄繭七百九十二貫、最高二十二圓七十錢、最低十六圓、買馴二十圓五十錢

拘留處分が不服

出火の入船女將が

正式裁判を要請

（既報）去十九日午後四時半南町飲食店入船の出火事件はその後平署渡部司法主任係りで關係者を取調中であつたが風呂場の煙突が無届であつた上風呂の焚火の不始末からと判明したので入船女將服部セッに對し平署では即決拘留二十日を言ひ渡したがセッは該即決處分に不服で今二十二日平署に異議を申立正式裁判を要請する事になつた。因み即決處分に對して異議を申立て正式裁判を仰いだのは近來平署管下では珍らしい事である。

大流行のぬい紋
當店へ御用命下さいお待ちになつてる間にも仕上げます。
ぬい紋、かき紋、はり紋
外テーブルカケ
江戸褄縫模様
水戸染野紋店支店
町田紋店
田町蛇の目向側

青訓視察研究會開催

來月十五日

石城郡下の青年訓練視察研究會は來月十五日優良青訓の名ある湯本青年訓練所において岩崎縣社會教育主事出席の下に開かれるが午前は學科、午後は教練の實地狀況を視察後將校及び縣出席官の講評あり、指示事項の審議あつて同訓練所の施設經營に關する發表、研究批評等がある當日の參集者は郡下關係職員、管理者、町村議員、團體長等であると。

蓄膿症
切ラズニ治ル
快鼻湯

本劑は幾多の藥劑ありと雖も他藥の及ばざる良藥であります。左右之病症の方は一時も早く服用され病苦を去られよ。

蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症、頭重、肥厚性鼻炎に靈効あり。
其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる神効ありと賞賛されて居ります。

磐城國平町一丁目
家傳胃腸藥製造元　水野藥局
責任製劑者　藥劑師　水野清一
（藥事相談部）
電話六九九番

君はいゝ型の洋服を、求められたね。誂だね？いや君コレは四丁目マルトモビル停車場通で販賣中のソレ正札堂さ

四丁目マルトモビル
正札堂

ゼブラ自轉車
宮田自轉車代理店
エビスヤ自轉車店
遞信省御用　電話六六四番
◎小店員二名入用　眞面目で身体强健の者十四、五歳位　委細來談あれ

内科　小兒科
花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平局五〇七

東京株式取引所　短期實物取引員
角治商店
電話代表茅場66（三七一　三七三　三七四　三七五　三四五六　三四五五　八二四）局　六六五
東京市日本橋區兜町一ノ四電略（カヌハ）カクヂ

平町の株式店
公社債。株式現物賣買
角治株式店
平町本町三丁目　七十七銀行隣　大谷時計店側
電話七三二番
株式日報御報進呈
營業案内御報參上
主任　山田芳藏

夜診
胃腸病
内科　胃腸病科
花柳病
花柳病科　性病科　泌尿器病科　皮膚科　肛門病科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電一〇七番）
療間

常磐銀行湯本支店
新築移轉御案内
先般來湯本町溫泉神社向角へ新築中ノ處此程落成致候ニ付本月貳拾五日ヨリ新舗ニ於テ營業可仕候間不相變御愛顧御引立ヲ賜リ度此段御案内申上候
昭和九年六月廿三日
湯本町大字湯本字三函二〇四番地
常磐銀行湯本支店
電話三九番

店主が店員を連れて行かれる
正シキ食堂
正シキ喫茶
正シキ酒場
平・田町
レストラン　サロン
電三五二

鼻の藥「チクノール」
山野邊藥局

和洋料理
支那そば十錢
ライスカレー十錢
御酒十八錢
皆様の食堂として御利用下さい
平南町（上田外科醫院隣）
和洋料理　東亜食堂

二葉印刷所
平町仲町・電話一九三番

和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
諸橋久太郎
電話九九九番

理想的强壯營養料
血肉トーゼ
高級滋養劑で味甘く女子供も喜んでのめる。
適應症
血少なく顏色惡き人、胸おどり心臟弱き人、大病又は産後の衰弱、過勞疲勞又は天性虛弱者　一圓
小兒の營養不良　一圓五十錢
◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎　二圓
特に病氣見舞には最的品
特約店　大平屋藥店
平町一町目　電話六四二番

外科
一般外科　內臟外科
性病科　X光線科
入院隨意（自炊の便あり）
元赤心堂病院
安齊外科醫院
電話四七五

電話三二番開設
上原家政婦會
平町紺屋町一一
會主産婆　上原通子